



わかりやすい色

ぼくには見分けにくい色があるんだ

NPO 法人CUDO



特定非営利活動法人 カラーユニバーサルデザイン機構 (略称CUDO)

〒101-0021

東京都千代田区外神田2-14-10 第二電波ビル7階

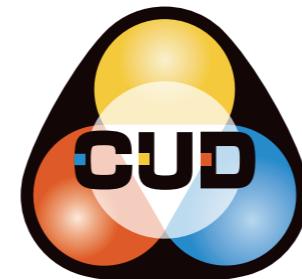
電話番号(FAX共用): 03-6206-0678

ホームページ: <http://www.cudo.jp/>

e-mail: info3@cudo.jp

2014年11月1日 印刷

COLOR UNIVERSAL DESIGN



特定非営利活動法人 カラーユニバーサルデザイン機構

カラーユニバーサルデザインとは

「みんなに分かりやすい色づかい」のこと指します。

見分けにくい色は人によって異なる

あなたに「見分けやすい色」と「見分けにくい色」があるように、誰にも「見分けにくい色」があります。

あまり知られていませんが、色の感じ方は人によって違っています。遺伝や加齢疾病や事故等が原因で「見分けにくい色」は人それぞれ違っているのです。これを「色覚の多様性」といいます。

実は誰も自分以外の人がどのように色を感じているのかは分からぬのです。



カラーユニバーサルデザインが解決します

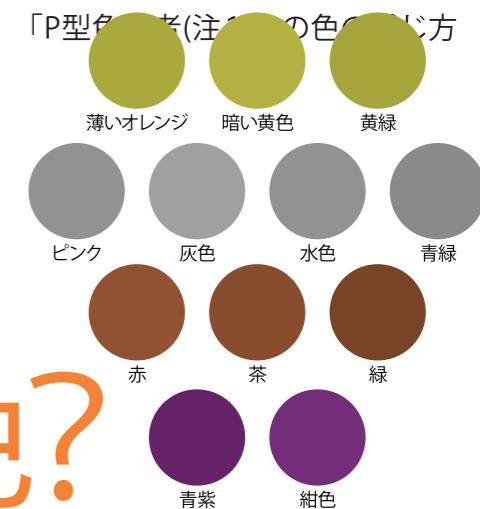
こうした問題を「カラーユニバーサルデザイン」が解決します。「みんなに分かりやすい色づかい」にすることで印刷物や製品などがより分かりやすくなり、間違いや勘違いを防止します。カラーユニバーサルデザインは多くの人のためのデザインです。



カラーユニバーサルデザインとは

色の感じ方は、遺伝子によって決まります。色の感じ方は人によって異なりますが、従来の色覚検査によって分類すると一番多い色覚タイプは「一般色覚」となり次に割合が多い色覚タイプが、赤緑の「色弱者」そして青黄の「色弱者」です。「色弱者」は「色覚障害者・色覚異常」などとも呼ばれています。先天性の色弱者は日本では男性の20人に1人、女性では500人に1人の割合で日本人全体では約316万人です。「一般色覚」の人も高齢化に伴い眼の老化や病気(白内障や疾患)によって色の感じ方が変化します。このような方も約150万人以上いると言われています。

色覚タイプの色の感じ方で何が問題となるのでしょうか。下記はその一例です。



4色?

※色弱者の色の感じかたは、シミュレーション(類似変換)画像を用いて色弱者の色の見分けにくさを再現したものです。色の感じ方は、同じ色覚タイプの中でも多少異なります。

【呼称】

CUDOでは、色の感じ方が人によって異なることを色覚の多様性ととらえ、「正常・異常色覚・色盲・色弱・色覚障害者」という従来の呼称を、各色覚型によって分類し、「正常色覚」を「C型」と呼び、先天的な「色覚異常」を「P型・D型」などと呼び、総体として色に関する情報弱者を表す「色弱者」と呼ぶことを提唱しています。

CUDOの提唱する呼称	従来の呼称
C型	正常色覚
P型 (強度・弱度)	1型
D型 (強度・弱度)	2型
T型	3型
A型	全色盲

CUDOは「みんなに分かりやすい色づかい」の社会実現のために
つぎのような活動を事業として行っています。

●相談助言

カラーユニバーサルデザインを実現するには既存の印刷物・製品や施設の配色・デザインをどのように改善すればよいか、また新製品はどのようにデザイン・設計すればよいか設計段階から助言します。



●資料提供

人間の色覚に関する科学的知識や、それにもとづいた現在のカラー デザインの問題点とカラーユニバーサルデザイン化へのノウハウについて参考となるさまざまな資料を作成して事務局やインターネットサイトなどを通じて配付しています。



●調査研究

カラーユニバーサルデザインの基礎となる色覚に関する科学研究に協力し最新の研究動向を反映した科学的なCUD設計手法の確立に努めます。医療機関・大学・メーカー等と協力して幅広い色覚に対応する科学的ノウハウを確立すべく研究作業を行なっています。



●普及啓発

CUDが社会に浸透してきたとはいえ、まだ一部でしかありません。CUD普及啓発事業の一環として研修やセミナーへ専任講師を派遣しています。また講習会やシンポジウム、ワークショップ等の啓発イベントも実施しています。



カラーユニバーサルデザイン(CUD)について

CUDを社会に広めるため、特定非営利活動法人カラーユニバーサルデザイン機構CUDOが設立され、その役割は急速に社会に認知されるようになりました。

教科書をはじめとした印刷物・デジカメ・カラーコピー・道路標識類などの情報表示に採用され、パッケージへの応用もされるようになってきました。

またCUDOは2008年にはグッドデザイン賞、2010年には「バリアフリー・ユニバーサルデザイン功労者内閣総理大臣表彰」を2013年にはキッズデザイン賞奨励賞を3部門およびIAUDアワード銀賞を2部門で受賞しました。CUD対応のデザインが配色のスタンダードとなる時代は近づいています。

CUDOは「みんなに分かりやすい色づかい」の社会の実現のために
以下のような検証や認証の活動を行っています。

●モニターによる検証

印刷物・機器類や施設などがカラーユニバーサルデザインとして適合しているかどうかを、実際にC型P型D型の検証モニターが官能検査を行い検証します。これはCUDO検証・認証の大きな特徴です。



●認証マークの発行

CUDに関する一定の要件を満たした印刷物・製品や施設などに対し、認証マークであるCUDマークを表示することができます。また個人や企業も会員となることでHPや名刺などにCUDマークを掲載することができます。



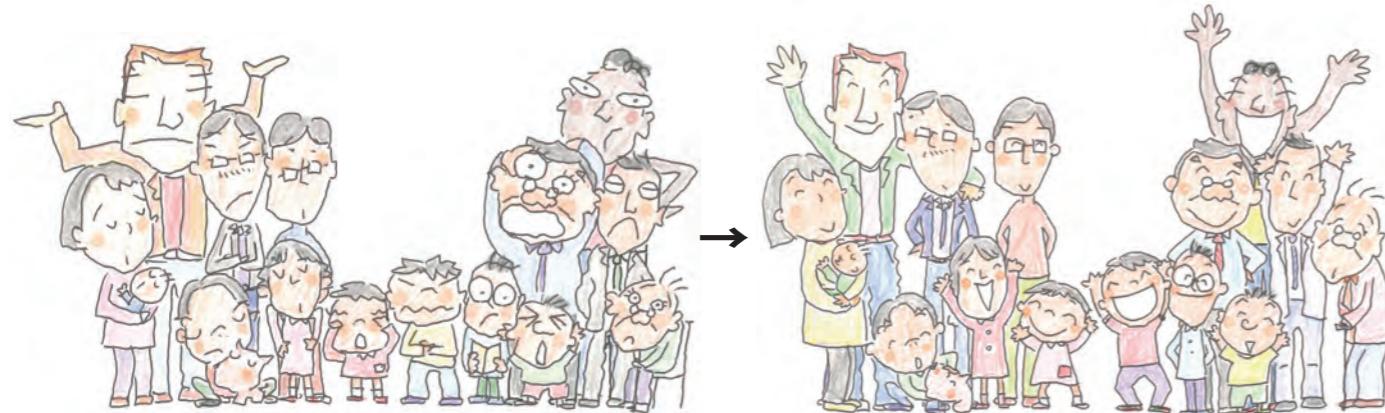
●CUD Management System (CUDMS)

社会のCUD化をすすめるにあたり、CUDOの指針のもと、企業・団体などが自ら配色デザインの方針を定め、設計の手段やプロセスを管理し、継続的に改善していくためのシステムデザインを支援します。



【CUD の重要性】

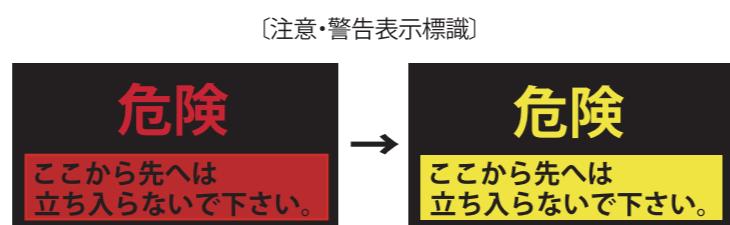
現代社会において色は「より速い」「より確実な」情報手段です。そして、色覚タイプの色の感じ方の特徴を考慮することにより、「より多くの人が情報を正確に受け取れる」「より多くの人が使いやすくなる」社会になります。



カラーユニバーサルデザインの3つのポイント

a

できるだけ多くの人が見分けやすい配色を選ぶ

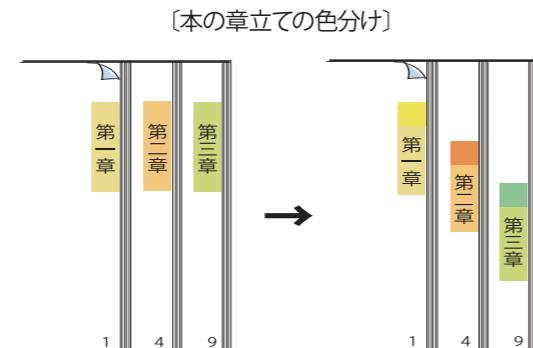


見分けにくい色を使うと
文字が背景に溶けて
読めないかもしれません

b

色を見分けにくい人にも
情報が伝わるようにする。
「色」+「色以外の情報、手がかり」を併用する。

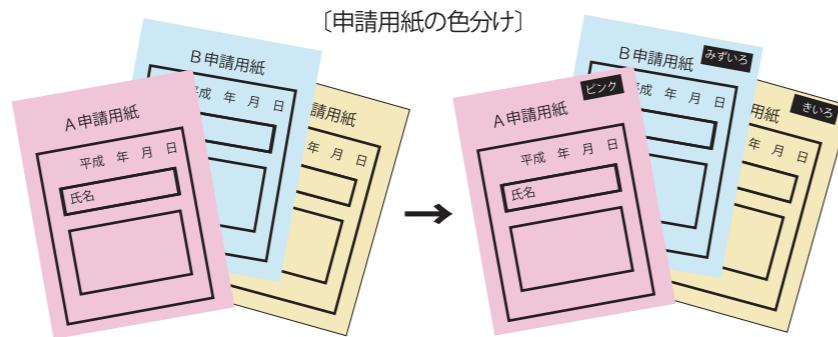
全く色が見分けられない人や
視力が弱い人にも
分かりやすくしましょう



C

色の名前を用いた
コミュニケーションを可能にする。

「赤い書類に書いてください」と
いわれても分からない人がいます



【沿革】

自らも色弱者である現東京大学准教授伊藤啓と現慈恵会医科大学教授岡部正隆は、科学者向けに色覚バリアフリーへの配慮を啓発する活動を行なっていました。やがて動きは学界の外へと広がり、賛同する色彩学者やデザイナーなどが合流し、企業・行政・団体等に対して、科学的で実用的な助言を行なうようになってゆきました。公益活動法人として継続的に幅広い活動を行うために、2004年10月特定非営利活動法人Color Universal Design Organization (略称NPO法人CUDO)が設立されました。

- 2004年 NPO認定 青山事務局開設
- 2007年 杉並分室開設
- 2008年 日本デザイン振興会 グッドデザイン賞受賞 新領域のデザイン活動
- 2009年 秋葉原事務所 開設・移転
- 2010年 内閣府バリアフリー・ユニバーサルデザイン 推進功労者表彰 内閣総理大臣表彰受賞
- 2013年 キッズデザイン賞 奨励賞3部門受賞/IAUDアワード 銀賞 2部門受賞
- 2014年 秋葉原事務所 第二電波ビルに移転

2009年
秋葉原事務局



2004年
発祥の地 東大前 増田屋



2004年
ブラジル大使館横 初代事務局



2007年
荻窪西武信金内 杉並事務局



【役員】

- | | | |
|------|------|-------------------------------|
| 理事長 | 武者廣平 | (株)武者デザインプロジェクト 代表取締役 |
| 副理事長 | 伊藤 啓 | 東京大学分子細胞生物学研究所 准教授 |
| | 岡部正隆 | 東京慈恵会医科大学解剖学講座 教授 |
| | 伊賀公一 | 1級カラーコーディネーター ソラノイロ代表 |
| | 田中陽介 | 東商カラーコーディネーター 認定講師 |
| 理事 | 市原恭代 | 工学院大学情報学部情報デザイン学科 准教授 |
| | 前川満良 | 石川県工業試験場 主任研究員・金沢美術工芸大学 非常勤講師 |
| | 林 孝彰 | 東京慈恵会医科大学眼科学講座 講師 |
| | 新井昭彦 | A&Aコンサルティング 代表 |
| 監事 | 阿部憲一 | 株式会社 細田工務店 代表取締役 |

【特別会員】

- | | | | |
|-------|-------------------|-------|---------------------|
| 中村芳夫 | 元経団連副会長・事務総長 | 吉森 保 | 大阪大学大学院 教授 |
| 堀田凱樹 | 東京大学 名誉教授 | 下川一哉 | 元日経デザイン編集長 |
| 長澤 泰 | 工学院大学 副学長 建築学部長 | 加藤 公敬 | 元富士通デザイン(株) 代表取締役社長 |
| 池村淑道 | 長浜バイオ大学 バイオ学部長 教授 | 藤村 亨 | 株式会社日本経済社 |
| 徳永万喜洋 | 東京工業大学大学院 教授 | 横山のぞみ | 元国立遺伝学研究所 |
| 山尾文明 | 国立遺伝学研究所 教授 | | |

(順不同)